

(様式2)

健やか食育プロジェクト事業報告書

健康福祉事務所名 豊岡健康福祉事務所

1 食育推進体制の整備

食育推進課題	<p>高齢者の低栄養はフレイル、要介護等の要因として重要であり、その対策が急務となっている。平成29年度に当所がモデル地域（香美町）で実施した高齢者の食生活に関する実態調査および関係機関との意見交換では、高齢者の食生活は、自身のみならず配食や中食、サロンでの会食等、様々な支援サービスにより成り立っていることが示唆され、地域の既存サービスに低栄養予防の視点をプラスすることで高齢者の健康を包括的に支援できる可能性が見えてきた。</p> <p>配食、中食販売業者における利用者（地域高齢者）の栄養管理の実態は把握できておらず課題である。また、各市町で行われているサービスの課題整理を行い、サービスの充実にむけて関係機関の連携強化を図る必要がある。</p>
今年度の推進方策	<p>モデル地域において、高齢者の生活支援、介護予防に関わる関係機関と連携して高齢者の低栄養予防に資する食環境の整備、連携体制の強化を行い、地域の食支援体制を構築する。</p> <p>また、モデル地域の取組を管内市町関係者と共有し、他地域での展開、実践に向けた協議を行う。</p>
成果	<p>モデル地域において、庁内関係部署、地域関係団体との協議により高齢者の低栄養予防のために各機関が地域で担うべき役割を認識し、地域全体で高齢者の食を支えるイメージが共有できた。また、関係機関を繋ぐキーパーソンが明確化され、今後の連携体制強化を進めるきっかけ作りができた。</p> <p>他地域においても、モデル地域の取組を参考に、高齢者の食支援体制づくりのために必要な連携体制を検討できた。</p>
今後の方向性	<p>管内各市町が組織的、継続的な高齢者の食支援体制の整備を進める。</p> <p>健康福祉事務所は各市町での展開、実践に向け支援を行う。</p>

2 会議の開催状況

実施日時	① 平成30年9月3日	② 平成31年3月11日
参集者 (団体数 及び人数)	モデル地域の高齢者の食支援サービス関係者…17名／5団体 (香美町福祉課・健康課、香美町社会福祉協議会、サロン世話役、香美町いずみ会)	管内市町の高齢者の食支援サービス関係者…19名／11団体 (管内各市町食育所管課・高齢福祉所管課・生活支援コーディネーター、各市町いずみ会)
協議内容	モデル地域において、高齢者の食支援体制のめざす姿と推進方策を協議した。その後、グループワークを通して各機関が自身の役割を考え、地域での活動に活かすこととした。	モデル地域での取組を共有し、他地域でも高齢者の低栄養予防の取組が組織的、継続的に展開されるよう、各市町で高齢者の食支援体制の整備にむけて検討した。
今後の方策	管内各市町における今後の高齢者の食支援体制整備について、取組状況の情報共有、必要な対策を検討する場として会議を開催していく。	

※会議の議事録、参集者名簿を添付すること。

3 食育実践活動の結果

テーマ	食を通じた、高齢者の低栄養予防（香美町におけるモデル事業）		
対象及び参加者数	モデル地域食支援サービス関係者：37名 健康教室：モデル地域サロン参加者22名 配食・中食実態調査：配食事業者3社、中食販売業者7社		
事業内容	日時・場所	内 容	講師・運営スタッフ
	H30. 8. 6 (豊岡健康福祉事務所)	高齢期の低栄養予防啓発リーフレットの作成検討会議	・HWO栄養士
	H30. 10. 26 (市原地区サロン) H30. 11. 16 (野々上地区サロン)	リーフレットを活用した健康教室 (サロン2カ所)	・サロン世話役 ・生活支援コーディネーター ・HWO栄養士
	(1)H30. 8～12月 (配食事業者店舗他)	(1)配食事業者の意識・実態調査 ・配食利用者のアセスメントの実態 ・配食弁当の栄養評価 等	・町配食所管課 ・HWO栄養士
	(2)H30. 11. 12 (香美町役場)	(2)配食の栄養管理体制の検討会議 ・所管課と調査結果の共有 ・ケアマネジャーからの意見収集	
成果	H30. 9～H31. 3 3 (中食販売店他)	(1)中食販売業者等の意識・実態調査 ・高齢者の利用状況 等 (2)スーパーやコンビニとタイアップした啓発POPの作成	・生活支援コーディネーター ・HWO栄養士
	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットは低栄養の自己チェック方法や困った時の相談窓口を載せ、専門職以外でも使えるものとし、モデル地域の集いの場のスタッフやケアマネへも周知ができた。今後管内市町全域での周知、活用をすすめる。 ・配食事業者への調査から、モデル地域の配食事業の現状や課題、所管課と事業者間の情報共有の課題が明らかになった。結果を受け、配食所管課が中心となり、庁内で配食事業の栄養管理体制を検討する場をもつきかけができた。 ・モデル地域で高齢者の利用の多いスーパーやコンビニ等への調査から、高齢者の中食利用・購入の機会を捉えた低栄養予防の啓発の有効性が見えてきた。結果を踏まえ、中食販売業者とタイアップした啓発のための店内設置POPを作成した。 <p>【評価指標と目標値及び達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット活用事例の増加 (目標：現状より増加（現在活用なし）、H31年以降評価) ・配食・中食販売業者の意識・実態調査 協力率（目標値100%、達成） ・啓発POP設置協力店舗数（目標値5社（モデル地域内調査協力店舗数）、H31年以降評価） 		
今後の課題	<p>モデル事業の他地域での展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者への低栄養予防の啓発（リーフレットの活用） ・スーパーやコンビニ等での低栄養予防の啓発（啓発POPの活用） ・管内配食事業者の実態調査 		

※プログラムや内容がわかる資料を抜粋し添付すること。



平成30年度 健やか食育プロジェクト事業 食を通じた、高齢者の低栄養予防

豊岡健康福祉事務所

モデル地域（香美町）において、高齢者の生活支援・介護予防に関わる関係機関の方々と共に、地域に暮らす高齢者の食・栄養の課題を話し合い、地域で一体的に高齢者の食を支える体制づくりについて考えました。

高齢者の食・栄養の課題

市町関係者、社協、いずみ会、サロン世話役等

- 独居の方は**共食の機会が少ない**
- サロン等の**つどいの場に出てこられない人の状況**が分からない
- **サロン参加者は高齢**のため、サロンでの食事作りが難しい
- **配食、宅配**といった食支援サービスや**中食**の利用が多い
- 配食の食べ方（残す、数回に分けて食べる等）に問題がある 等々



めざす姿(目標)

高齢者が自分で低栄養に気づき、相談できる

周囲の人やケアスタッフが高齢者の低栄養に気づき、必要な支援につなぐことができる

配食サービス導入時には担当者が栄養アセスメントを行い、配食事業者と情報共有できる

配食事業者が、地域高齢者の特性を把握して食事提供ができる

高齢者がよく利用するスーパーや飲食店ではバランスの良い食事、食材を購入できる工夫をしている

推進方策

高齢者が食知識と実践力を身につける

- 低栄養予防のリーフレット作成
- リーフレットを使った健康教室

食支援体制整備

- 健やか食育推進会議
- 町生活支援体制整備事業（本事業と協働）
- 配食サービスの栄養管理体制の検討会議

中食、配食サービスの栄養管理体制整備

- 配食事業者、中食販売業者の意識・実態調査
- スーパーやコンビニ等とタイアップした低栄養予防の啓発

今年度の推進方策の取組状況(食育実践活動)

高齢者が食知識と実践力を身につける

市町栄養士の皆さんと協力し、低栄養予防のためのリーフレットを作成しました。また、リーフレットを活用し、地域で健康教室を行いました。

低栄養の自己チェック方法や困った時の相談窓口を記載



食支援体制整備

◇ 第1回食育推進会議 平成30年9月3日(村岡老人福祉センター)

<参加者>

モデル地域高齢福祉所管課・食育所管課、生活支援コーディネーター、社協、サロン世話役、いずみ会



昨年の食育推進会議で共有した地域高齢者の食課題を踏まえ、食支援体制のめざす姿と推進方策を協議しました。

各関係機関が推進方策の中で出来る具体的な取組を考え、地域で一体的に高齢者の食を支えるイメージを共有できました。

◇ 第2回食育推進会議 平成31年3月11日(豊岡総合庁舎 福利センター)

<参加者>

管内市町高齢福祉所管課・食育所管課、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、各市町いずみ会

モデル地域の取組を参考に、他市町でも組織的、継続的に食支援体制の整備をすすめられるよう、市町ごとに必要な連携体制について検討しました。

中食、配食サービスの栄養管理体制整備

◇ 配食事業者の意識・実態調査、配食弁当の栄養評価

モデル地域の配食受託業者2社+他1社にご協力いただきました。

配食を利用する高齢者の特性や日々の変化を関係者間で共有することで、より栄養面に配慮したサービスにつながる可能性が見えてきました。

◇ スーパーやコンビニ等での低栄養予防の啓発

高齢者が中食を上手に使うことで栄養バランスを整えられるよう、高齢者がよく利用するスーパーやコンビニ等と協力して店内設置POPを作成しました。

作成したPOP



今後の方向性

○リーフレットの活用

○スーパーやコンビニ等と連携した低栄養予防の啓発 (POP の設置・展開)

○各市町で食支援体制の検討/HWOで全体の情報共有、進捗状況の確認を行う

○管内配食事業者の意識・実態調査